

5 本時の学習指導（6 / 6 時間）

気温・水温コース

(1) 基礎・基本

身近な生活の中で、折れ線グラフを活用しようとする能力。
目的に応じた折れ線グラフをかいたり、2つの折れ線グラフを比べて読み取る力。

(2) 目標

自分が調べ、表にまとめた数値をもとに、軸の取り方や目盛りの大きさに注意して折れ線グラフを書いたり、2つの折れ線グラフを比較するよさに気づき、読み取ったりすることができる。

(3) 学習指導過程

学習活動	児童の意識の流れ	教師の支援活動
<p>1. 本時の学習課題について確認する。</p> <p>2. 自分がまとめた表をもとに晴れの日の気温と水温の変化をグラフにかく。</p> <p>3. できた折れ線グラフを見て、変化の様子や特徴を話し合う。</p> <p>4. 曇りや雨の日の気温や水温の変化をグラフにかく。</p> <p>5. 学習のまとめを「わかったよカード」に書く。</p>	<p>気温や水温を折れ線グラフに表し、変化の様子を比べよう。</p> <p>・まず、表題をつけよう。 ・横軸には、時間をとろう。 ・縦軸には、気温をかこう。 ・変わり方をわかりやすくするために、目盛りのとりかたを考えよう。</p> <p>かけた気温の変化のグラフの上に水温の変化のグラフをかいてみよう。</p> <p>2つのグラフをあわせると、気温と水温の違いがよくわかるな。</p> <p>・どちらも山形に変化しているな ・水温はあまり変化はないな。 ・気温が水温よりも高いな。 ・水温も気温も午後2時が一番高いな。</p> <p>曇りや雨の日は、どうだろう。</p> <p>・曇りの時は、あまり変わらないと思う。 ・雨の日は、水温が高くなるかも知れないな。</p> <p>2つの折れ線グラフの表すと、それぞれの変り方の違いや似ているところがよくわかるな。</p>	<p>・体育の学習に関係する素材を使いことで学習の意欲化を図る。 ・グラフをかく前に、本時のめあてを、「分かったよカード」で、2本の折れ線グラフをかくことを確認する。 ・折れ線グラフのかき方を前時の学習から思いだし、変わり方がよく分かるためには、目盛りのとりかたを工夫すればよいことを取り上げる。</p> <p>(評) 最高値と最低値から、必要な範囲から決めることができたか。決められない児童には、板書の資料から、最高値と最低値をさがす。</p> <p>・気温と水温のグラフが混乱しないように、気温からかき始めるよう助言する。また、2つのグラフを色を変えてかくことで、その変わり方を見つけやすくする。 ・晴れの日の気温と水温の違いが全体からや一部から見つけることができたか、ワークシートにわかったことを書き込むように助言する。</p> <p>— 表現力育成のために — 1本のグラフに関する発言と2本のグラフを比較した発言を整理したり2本のグラフのよさを見つけた児童の発言やワークシートに書かれたことを全体に広げ、比較できるよさを深める。</p> <p>・「天候の違いによる気温や水温の違い」を、比較する項目を変えることで変化を読みとろうとする意欲を高める。 ・意識のつながりをもたせるために、晴れの時と同じような変わり方をするのかどうか予想を立ててから、次の課題の解決へとつないでいく。</p> <p>(評) 2つの折れ線グラフを比べてみるよさに気づき、変わり方を見つめるとが出来たか。比較できない児童には、グラフの見方を個別に指導していく。</p>

(4) 評価

2つの折れ線グラフを比べるよさに気づき、変わり方を正しく読みとれたか。

- ・よくできる：折れ線グラフの縦軸と横軸を考え、変わり方がよく分かるグラフをかき、2つのグラフの変り方の特徴を正しく読みとれる。(発言、ワークシート)
- ・できる：2つの折れ線グラフを重ねてかくよさを、話し合いで気づき、変わり方の特徴を読みとることができる。(話し合い、ワークシート、わかったよカード)